



ヒーローの虎マスクはプロレスとアニメ。年末年始に伊達直人さんを騙る慈善活動が散見されるかな？
緊急事態宣言が解除されて以降、新型コロナウイルスの感染拡大は収束の気配?!しかし 新株の影響など、マスクを手放せない日々が続いています。日本の冬季にて、コロナ以前から多くの人が使うマスクは身近なアイテム。欧米ではマスク装着者は重篤な病気にかかっている人とみなされ敬遠されることが。国や文化の違いによって、マスクでも捉え方が大きく異なります。そこでマスクがいつから登場したのか、その歴史をチラッと紹介します!

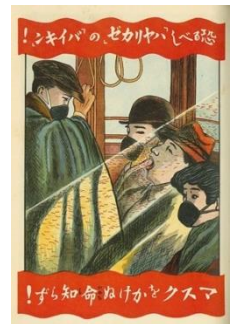
★マスクの歴史

私たちが着ける衛生用のマスクは、文化的・呪術的な仮面から枝分かれしたものです。感染症研究は17世紀の細菌の発見、19世紀のウイルスの発見を経て飛躍的に進みました。それまではおまじない・お守り程度の意味が強かったとみられますが、17世紀に欧州でペストが猛威をふるった際には各地の「ペスト医師」は鳥のくちばし状の仮面を着けたとされています。当時は「瘴気(しょうき)」「ミアズマ、悪い空気」がペストの原因と考えられ、マスクの「くちばし」部分にはその瘴気を中和しようと「瘴気よけ」のために大量の香辛料が詰められていました。仮面着用の結果、実際に多少のリスク低減効果があったのかも…?とされています。また、くちばし状の仮面の他に病人に触れるための杖や、ワックスを塗り、香りを付けたロングコート(今で言う防護服)、皮の手袋を着用していたそうです。



*1879年に日本で国産化

“呼吸器”という名称のマスクが作られました。これは口を覆う部分が硬く、裏側は口が直接当たらないよう空洞になっていて、今の立体型マスクのような形です。空洞部分に金属の糸のような部品がびっしりあり汚れた空気を金属糸のフィルターでこして息を吸い込む仕組みです。炭鉱などで働く人たちの粉塵(ふんじん)除けがおもな用途でした。



*1918年には革製や高級品がステータス

“スペイン風邪”が流行し政府がマスクの着用を呼びかけ一気に衛生用マスクが普及しました。新型コロナの流行当初に起きた混乱同様、一時店頭から消えたといえます。当時、内務省衛生局が配布したポスターがこちらです。(→)
「マスクをかけぬ命知らず」キャッチコピーが刺激的ですね。このポスターを見るように当時は黒マスクがベーシックでした。最近ではオシャレとして黒マスクを着用する若者が増えていることに驚きです。



*1940年にガーゼが一般化

マスクと言えば”白マスク”の姿が庶民の手作りマスクとともにしばらく定着していました。



*1980年に花粉対策 スギ花粉症が社会問題になりました。

*2001年に不織布マスクが店頭販売になり *2003年には立体型マスクがヒットしました。

*2009年には新型インフルエンザが流行しマスクを毎日予防のために着ける人が増えました。

マスク姿が日常風景になり、すっぴん隠しや紫外線予防、目元の強調として “マスク女子” が急増しました。

この頃より外国人観光客が増え「日本にはまだ忍者がいる」と感じる人もいたとか、そうすると昨今は世界中に忍者がいることになりますネ。オリジナルの手作りマスクなど色々な種類のマスクを入手できますが好ましいのは不織布マスクです。パンデミック以前の解放感など、かつての生活に戻したくても、もはや望めぬ現代社会。引き続き感染対策を心がけ、ワクチン接種によって集団免疫を継続しよう!

第42回 ゴミZERO セントラルパーク駅運動 1月30日

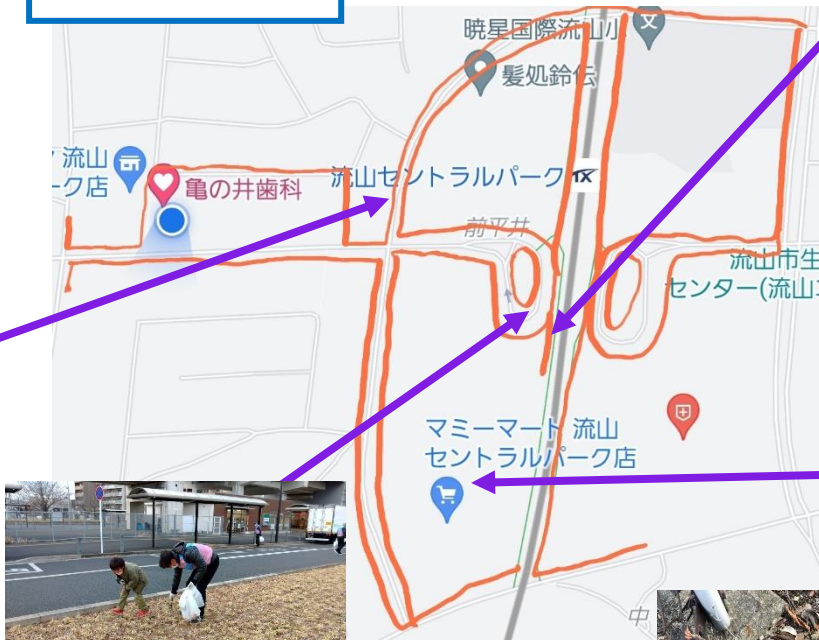
ZERO LITTER MATTER 次回は2/12土曜日 15時~予定です



ポイ捨て吸い殻
650本くらい?
かなり増えている



ホームセンターの裏
今回も吸い殻とペットボ
トルが散乱!!
真横に注意喚起版がある
にもかかわらず…。



空きボトルが
散乱している。



もしタバコに火がつ
いていたら落ち葉と
共に燃えた跡も!
恐ろしい……



Root for our home town!!

亀の井歯科 髪処 リンデン東葛

お口も髪も、そして街もキレイにし
よう!

今回も3週間空けてのゴミ拾いでした。7日間多いだけでゴミの量が
とくに多く目立ったのはタバコの吸い殻です。
42回目でここまで多いのは初めてです。
感染者が増える中、ゴミも増えているのは出歩く人がまだ多い?
寒い中、子供たちも頑張ってくれました。
感染予防対策もしっかりしつつ今後もゴミなし啓蒙活動を続けます!

LINE



@495qjehp



ZEROLITTERMATTER

#流山ヒルズ



参加希望 大歓迎!!